

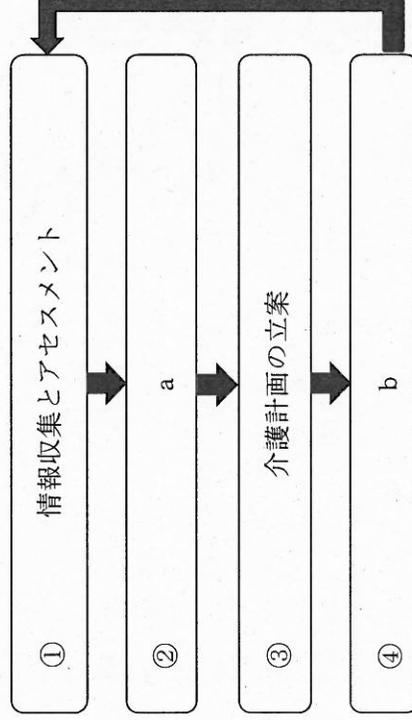
# 28 高等学校 福祉科 問題用紙

(4枚のうち1)

受験番号	氏名	
------	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 1 次の図は、平成 21 年 3 月告示の高等学校学習指導要領 福祉 介護過程 2 内容 (2) に示されている介護過程の展開を模式的に表したものです。下の 1～3 に答えなさい。



- 1 図中の a・b にあてはまる言葉は何ですか。それぞれ書きなさい。
- 2 生徒に図中 ① の過程において、福祉サービス利用者に関する情報収集をさせるとします。その際、どのような手段で情報収集をさせますか。簡潔に 3 つ書きなさい。
- 3 次の表は、「障害高齢者の日常生活自立度 (寝たきり度) 判定基準」をまとめたものです。表中の (ア)～(ウ) にあてはまる言葉又は記号をそれぞれ書きなさい。

生活自立	ランク (ア)	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。
(イ)	ランク A	① 交通機関等を利用して外出する。 ② 隣近所へなら外出する。 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。 ① 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。 ② 外出の頻度が少なく、日中も寝たきり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、(ウ)位を保つ。 ① 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 ② 介助により車いすに移乗する。
	ランク C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。 ① 自力で寝返りをうつ。 ② 自力では寝返りもうつらない。

- 2 人間の尊厳と自立について、次の 1・2 に答えなさい。
- 1 次の文章は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の目的を示したものです。文章中の (ア)～(ウ) にあてはまる言葉は何ですか。それぞれ書きなさい。

この法律は、障害者基本法の基本的な理念にのっとり、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、(ア)法その他障害者及び障害児の福祉に関する法律と相まって、障害者及び障害児が(イ)を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付、地域生活支援事業その他の支援を総合的に行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず国民が相互に(ウ)と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

- 2 自立生活運動は、1970 年代にアメリカで始まり、世界中の重度障害者の活動に大きな影響を与えました。どのような影響ですか。その影響を「ADLの自立」、「QOLの充実」、「自己決定」の言葉を用いて、簡潔に書きなさい。

28 高等学校 福祉科 問題用紙

(4枚のうち2)

受験番号	氏名
------	----

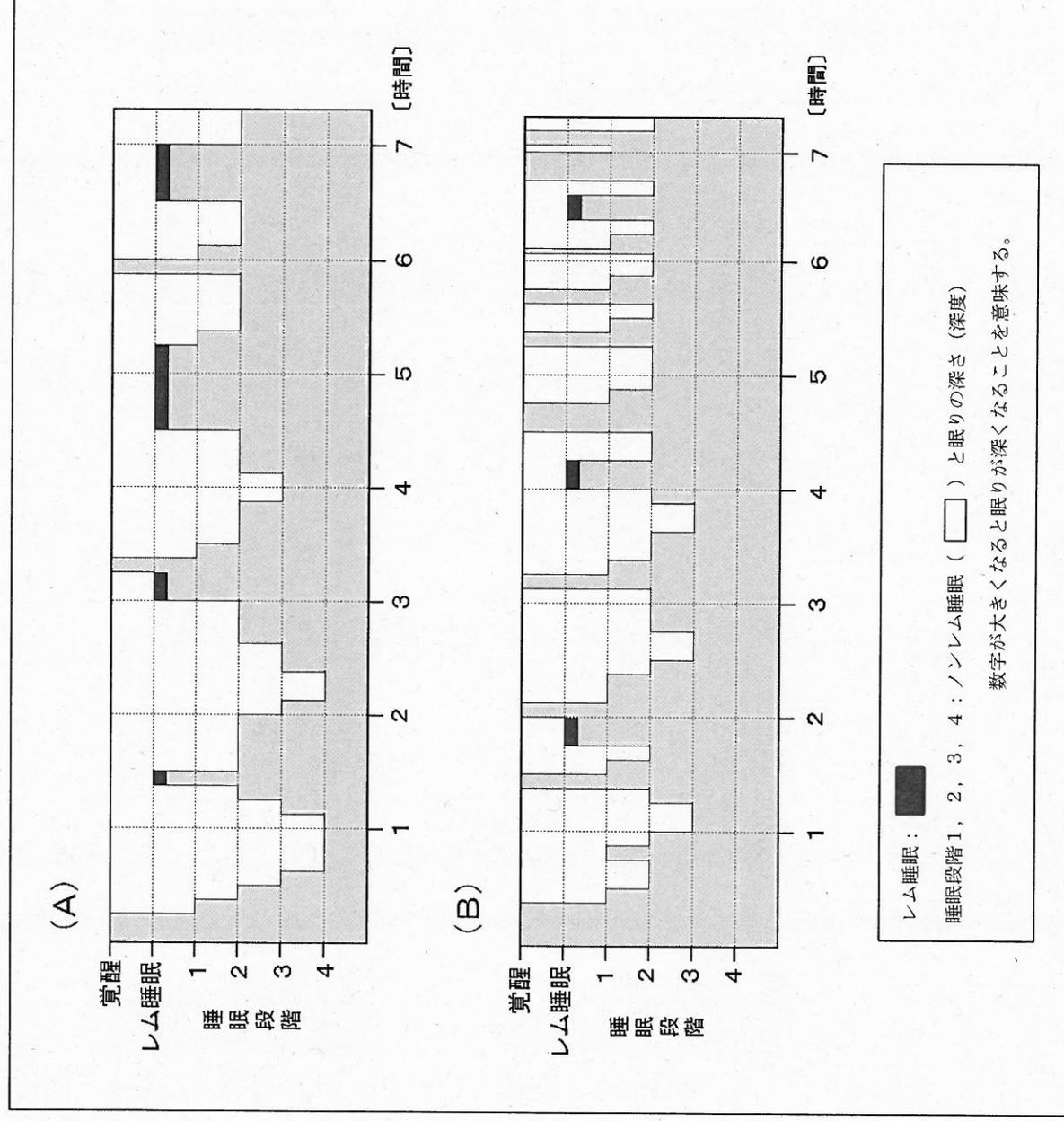
(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

3 睡眠の介護について、次の1～3に答えなさい。

1 次の文章は、睡眠の意義と睡眠リズムについて説明したものです。文章中の(ア)～(ウ)にあてはまる言葉は何ですか。それぞれ書きなさい。

睡眠中は、(ア)から成長ホルモンが分泌され、大人の場合は、疲労回復や細胞損傷の修復に重要な役割を果たしている。また、人間は睡眠中に(イ)が高められて、病気を治そうとする自然の力が働く。通常、夜になったら眠り、朝になったら目覚める。このリズムは人間の中に存在しており、(ウ)とよばれ、生体リズムの一つである。

2 次の図は、平均的な成人と平均的な高齢者の一晩の睡眠の経過を示したものです。図中(A)・(B)のうち高齢者の睡眠の経過を示す図はどちらですか。(A)・(B)から1つ選び、その記号を書きなさい。また、その記号を選んだ理由を書きなさい。



3 不眠を訴える高齢者への睡眠の介護では、起床時に太陽の光をからだに浴びて覚醒を促すことが必要です。起床時に太陽の光をからだに浴びることで覚醒を促すのはなぜですか。メラトニンの分泌と関連付けて、簡潔に書きなさい。

# 28 高等学校 福祉科 問題用紙

(4枚のうち3)

受験番号	氏 名	
------	-----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

4 次の1・2に答えなさい。

1 日本介護福祉士会倫理綱領について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 次の文章は、本倫理綱領の前文です。文章中の(ア)・(イ)にあてはまる言葉は何ですか。それぞれ書きなさい。

私たち介護福祉士は、介護福祉ニーズを有するすべての人々が、住み慣れた地域において安心して(ア)ことができ、そして暮らし続けていくことのできる社会の実現を願っています。

そのため、私たち日本介護福祉士会は、一人ひとりの心豊かな暮らしを支える介護福祉の専門職として、ここに倫理綱領を定め、自らの専門的知識・技術及び倫理的(イ)をもって最善の介護福祉サービスの提供に努めます。

(2) 本倫理綱領は、前文及び、7つの項目から構成されています。どのような内容の項目がありますか。3つ書きなさい。

2 A訪問介護事業所に勤めるBさんは、福祉に関するシンポジウムで、利用者Cさんの事例発表を予定しています。Cさんは認知症と診断され、訪問介護サービスを利用していますが、半年前に亡くなりました。Cさんには、妻と娘がいます。平成17年に全面施行された「個人情報保護に関する法律」に準拠して事例発表するには、どのような対応が必要ですか。また、その理由を書きなさい。

5 発達と老化の理解について、次の1・2に答えなさい。

1 次の(ア)～(エ)は、人間の発達や行動の理解の手がかりとなる代表的な理論を提唱した人名です。これらの人物と最も関連の深い理論は何ですか。下のA～Dの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

(ア) エリクソン (イ) ピアジェ (ウ) フロイト (エ) ポウルビエ

A 認知発達理論	B 心理社会的発達理論	C 心理学的発達理論	D 愛着理論
----------	-------------	------------	--------

2 次の(1)・(2)は、高齢者福祉に関する用語です。用語の意味をそれぞれ簡潔に書きなさい。

(1) エイジズム

(2) サクセスフル・エイジング

6 次の①～④の図は、手話の単語を示したものです。それぞれどのような意味ですか。下の語群のA～Hの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

① ② ③ ④

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

<語群>	A おめでとう	B すみません	C 美しい	D 嫌い
	E わかる	F 悲しい	G 思う	H ありがとう

# 28 高等学校 福祉科 問題用紙

(4枚のうち4)

受験番号	氏名	
------	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

7 平成21年3月告示の高等学校学習指導要領 福祉 介護総合演習 3 内容の取扱い (1) イ には、介護実習の事前・事後指導についての配慮事項が示されています。どのようなことに配慮することが必要ですか。簡潔に書きなさい。

8 科目「生活支援技術」の授業において、習得している知識等を活用して、サービス利用者に安心感のある介護方法についての理解を深める授業を行うこととします。  
次に示す本時の学習目標を達成させるためには、どのような授業展開が考えられますか。次の表に示された条件をもとに、1時間の学習展開における、学習活動と指導上の留意事項について、あなたの考えをそれぞれ書きなさい。

学科・対象学年	福祉科・第1学年		
科目	生活支援技術		
単元	移動の介護		
単元の学習目標	移動の介護に関する基礎的な知識と技術を活用し、安心感のある移動の介護方法について、具体例を示しながらまとめられることができる。		
	学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに、移動の意義や目的、移動の介護の基礎的知識、体位変換、車いす及び杖歩行の方法を学んでいる。</li> <li>・高齢者疑似体験セットを装着した状態で杖歩行の校内実習を行っている。</li> </ul>	
生徒の状況	習得状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の前に行った小テストにおいて、杖歩行の介護に関する知識は、約70%の生徒が60%以上正解していることができる。</li> <li>・校内実習後に書かせたワークシートには、移動の介護方法は、サービス利用者の状態や状況を考える必要があると、約80%の生徒が書いている。</li> <li>・5月のアンケートでは、約50%の生徒が「お互いのことを深く知ることを避けている」と回答した。また、約70%の生徒が「グループで話し合いをする際、自分の意見を言うのが苦手である」と回答した。</li> </ul>	
	指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>1次 移動の意義や目的 (1時間)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用者の状態や状況に応じた様々な移動の介護に関心をもたせる。</li> </ul> </li> <li>2次 移動の介護の基礎的知識 (3時間)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボデイメカニクス、移動のための重心や姿勢、体位変換、車いす、杖歩行の基礎的知識を理解させる。</li> </ul> </li> <li>3次 杖歩行の校内実習 (2時間)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス利用者役は高齢者疑似体験セットを装着し、介護者役は、移動の介助 (杖歩行) を体験させる。</li> </ul> </li> <li>4次 本時 (1時間)</li> <li>5次 まとめ (1時間)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の介護実習に向けて、実際の介護場面に生かすためのチェックリストを作成させる。</li> </ul> </li> </ul>	
本時の学習目標	安心感のある歩行介助の方法について、具体例を示しながらまとめられることができる。		
「おおむね満足できる」状況と判断できる生徒が本時の授業終了後に書いた記録	<p>高齢者疑似体験セットを身に付けて、杖歩行をしながら、階段の上り下りを行った。腰が曲がり、状態が前傾姿勢で、膝が曲げにくく、視野も狭く見えにくい為、段差を確認しにくくゆっくりしか歩けなかった。またちよつとしたことでバランスを崩しそうになり、特に階段を下りる時が怖かった。</p> <p>体験したことをグループで話し合うことで、高齢者の歩行介助には、危険なことが高齢者の周りに無いか良く見ることと、ゆっくりとした動きに合わせ無理やりひっぱったりしないこと、階段を上る時には、高齢者の歩行を妨げないよう、少し後ろから見守りながら、危険な時にはすぐに介助できるようにしておくこと、階段を下りる時には、高齢者の前方に立ち介助することが安心感のある介護方法であることが意見として出た。</p> <p>私は、階段を下りる時に、立ち位置が分からず、利用者の横に立って介護をしていたため、不安にさせていたことが分かった。今後は、利用者が階段を下りる時には、利用者より一段下に立ち、利用者の危険を伴う側で、歩行の介護を行っていきたい。</p>		

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
1	1	a	
		b	
	2		
	3	(ア)	
		(イ)	
		(ウ)	
	2	1	(ア)
(イ)			
(ウ)			
2			

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
3	1	(ア)	
		(イ)	
		(ウ)	
	2	記号	
		理由	
	3		
4	1	(ア)	
		(1)	
		(イ)	
	2	(2)	
	2	対応	
	理由		

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
5	1	(ア)	
		(イ)	
		(ウ)	
		(エ)	
	2	(1)	
		(2)	
6	①		
	②		
	③		
	④		
7			

28

高等学校 福祉科 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄	
	学習活動	指導上の留意事項
8		